

現行計画における指標一覧

区分	指標	内容	記載	現状(策定時)	数値目標	直近値	進捗	左記の数値の根拠及び調査時点	
全体目標	がんの年齢調整死亡率(75歳未満)	年齢構成を調整した人口10万人に対する死亡率	★	【H17年】 103.2%	82.6%(10年)	【H22年】 101.1%	C	人口動態統計(厚生労働省)により国立がん研究センターが算出	
がん予防	成人喫煙率(男)	成人、妊婦の喫煙率	★	【H17年】 39.4%	25.0%以下(5年)	【H22年】 36.1%	B	平成22年度県民健康・栄養調査(青森県)	
	成人喫煙率(女)		★	【H17年】 8.2%	5.0%以下(5年)	【H22年】 7.9%	C	平成22年度県民健康・栄養調査(青森県)	
	妊婦喫煙率		★	【H17年】 10.3%	0%(5年)	【H22年】 6.5%	B	平成22年妊婦連絡票(青森県)	
	未成年者喫煙率	未成年者の喫煙率	★	【H19年】 中1:男0.4%,女0.5% 高3:男11.6%,女4.8%	0%(早期に)	【H23年】 中1:男0.4%,女0.2% 高3:男2.7%,女1.1%	B	平成23年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査(青森県)	
	禁煙外来実施医療機関数	禁煙外来を行う医療機関数(保険適用で禁煙治療ができる医療機関数)	★	【H17年】 36施設	増加	【H24年】 123施設	A	平成24年5月現在 青森県調べ	
	公共の場における禁煙・分煙割合	「健康あおもり21」たばこ部門の指標・目標	☆	【H17年】 21.4-91.2%	100%	【H23年】 17.6-92%	E	平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査(青森県) *「現状(策定時)」は禁煙・分煙の割合で、「直近値」は完全禁煙の割合のため比較困難	
	禁煙支援プログラム実施割合(市町村)	「健康あおもり21」たばこ部門の指標・目標	☆	【H17年】 72.3%	100%	【H23年】 57.5%	D	平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査(青森県)	
	禁煙支援プログラム実施割合(医療機関)	「健康あおもり21」たばこ部門の指標・目標	☆	【H17年】 37.2%	100%	【H23年】 19.9%	E	平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査(青森県) *現状値としている平成17年度以降、禁煙治療に係る保険適用等の社会変化があったため単純比較は不適当	
	1日の野菜摂取量(青少年期以降)	「健康あおもり21」栄養・食生活部門の指標・目標	☆	【H17年】 277g/日	350g/日以上	【H22年】 266g/日	C	平成22年度県民健康・栄養調査(青森県)	
	成人の脂肪エネルギー比率(40歳未満)	「健康あおもり21」栄養・食生活部門の指標・目標	☆	【H17年】 25.8%	25%以下	【H22年】 27.8%	C	平成22年度県民健康・栄養調査(青森県)	
	成人の脂肪エネルギー比率(40歳以上)	「健康あおもり21」栄養・食生活部門の指標・目標	☆	【H17年】 22.4%	25%以下	【H22年】 23.1%	A	平成22年度県民健康・栄養調査(青森県)	
がんの早期発見	検診受診率	がん検診を受ける者の割合(40歳以上。ただし、子宮がんは20歳以上。)	★	【H17年】 胃がん(男)30.3% 胃がん(女)32.4% 大腸がん(男)25.0% 大腸がん(女)27.4% 肺がん(男)23.7% 肺がん(女)26.1% 子宮がん38.3% 乳がん26.3%	50.0%以上	【H22年】 胃がん(男)35.8% 胃がん(女)30.0% 大腸がん(男)30.2% 大腸がん(女)26.5% 肺がん(男)29.9% 肺がん(女)27.1% 子宮がん24.0% 乳がん22.6%	B	国民生活基礎調査(厚生労働省)	
	検診カバー率	市町村がん検診の対象者のうち検診を受けた者の割合(受診者数÷検診対象人口×100により算出したもの。人口は10月1日現在推計人口を使用。)(乳がん、子宮がんについては、前年度との受診者合計数から2年連続受診者数を減じた数を「受診者数」として算出)	★	【H17年】 胃がん(男)10.1% 胃がん(女)14.2% 大腸がん(男)11.0% 大腸がん(女)16.0% 肺がん(男)11.2% 肺がん(女)16.2% 子宮がん9.1% 乳がん7.9%	30.0%以上	【H22年】 胃がん(男)10.0% 胃がん(女)12.3% 大腸がん(男)11.7% 大腸がん(女)14.5% 肺がん(男)10.1% 肺がん(女)13.1% 子宮がん9.4% 乳がん4.9%	D	地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)	
	精度管理・事業評価実施割合	がん検診についての精度管理・事業評価を行う市町村割合(回答市町村のうち事業評価のための市町村チェックリストの項目を8割以上実施しているとした市町村の割合)	★	要調査	100%	【H22年】 胃がん23.3% 大腸がん23.3% 肺がん23.3% 子宮がん23.3% 乳がん16.7%	E	平成23年度「市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」(厚生労働省科学研究費補助金「標準的検診法と精度管理に係る新たなシステムなどの開発に関する研究」研究班)	
	科学的根拠に基づく検診実施割合	科学的根拠に基づくがん検診を行う市町村割合(国の指針に定めるがん検診を実施している市町村の割合)	★	要調査	100%	100%	A	平成24年 青森県調べ	
がんの医療体制	がん医療機関	がんの診療連携拠点病院充足率	拠点病院の整備された二次医療圏の割合	★	【H19年】 83.3%	100%(3年)	【H24年】 83.3%	C	平成24年4月現在 青森県調べ
		地域連携バス整備率(拠点病院)	がんの地域連携バスを整備する拠点病院の割合	★	【H19年】 0%	100%(5年)	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
	放射線療法・化学療法の推進	放射線療法・化学療法実施率(拠点病院)	放射線療法・化学療法を行う拠点病院の割合	★	【H19年】 100%	100%	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
		医療従事者の育成	がん関係認定看護師数(拠点病院)	拠点病院におけるがんに関する専門知識を有する看護師数	★	【H19年】 6人	増加	【H23年】 18人	A
	緩和ケア	緩和ケアチーム設置率(拠点病院)	緩和ケアチームを設置する拠点病院の割合	★	【H19年】 100%	100%(5年)	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
		緩和ケア研修受講医師数	緩和ケアの基本的知識習得のための研修を受講した医師数	★	【H19年】 0%	増加	【H23年】 218人	A	平成23年3月31日現在、厚労省調べ
		医療用麻薬消費量	疼痛軽減のために使用される医療用麻薬の消費量(モルヒネ・オキシドロン・フェンタニルの人口千人あたりの消費量)	★	【H19年】 37.669g/千人	増加	【H22年】 63.222g/千人	A	平成23年10月麻薬・覚せい剤行政の概況(厚生労働省)
		緩和ケア実施病院数(拠点病院以外)	拠点病院以外で緩和ケアを実施する病院数(拠点病院以外で、緩和ケア病棟又は緩和ケアチームありとした病院数)	★	—	増加	【H24年2月】 9	E	平成23年度青森県医療機能調査(青森県)
		緩和ケア実施訪問看護ステーション数	緩和ケアを実施する訪問看護ステーション数(「麻薬を用いた疼痛管理」に対応している訪問看護ステーションの数)	★	—	増加	【H24年6月】 63	E	青森県介護サービス情報公表システム
	相談支援・情報提供	相談支援センター割合(設置率)	相談支援センターの整備された二次医療圏の割合	★	【H19年】 5/6(83.3%)	100%(3年)	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
		研修受講済相談員配置割合	研修を受講した相談員を配置している拠点病院の割合	☆	—	100%	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
		がん関係パンフレット配布医療機関数	がんに関する情報提供を行う医療機関数(がん診療連携拠点病院)	★	【H19年】 5	増加	【H23年】 6	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
	がん登録	標準様式による院内がん登録実施率(拠点病院)	標準様式による院内がん登録を実施する拠点病院の割合	★	【H19年】 100%	100%(5年)	【H23年】 100%	A	平成23年度がん診療連携拠点病院現況報告
		院内がん登録実施医療機関数	院内がん登録を実施する医療機関の数	★	—	増加	【H23年】 31	E	平成20年度から23年度までにがん登録届出のあった医療機関
研修受講済登録実務者配置割合		必要な研修を受講した登録実務者を配置する拠点病院の割合	★	—	100%	【H24年】 100%	E	平成24年現在 青森県調べ	
在宅医療	がん患者の在宅死割合	がん患者のうち在宅で死亡する者の割合(自宅、老人ホーム、介護老人保健施設を在宅として算出)	★	【H16年】 4.9%	増加	【H22年】 7.1%	A	平成22年人口動態調査(厚生労働省)	

「記載」欄 ★:青森県がん対策推進計画と青森県保健医療計画(がん対策)の両方に指標として記載されているもの。☆:青森県がん対策推進計画のみに記載されているもの。

「進捗」欄 「A」:目標達成(ただし、「増加」を目標としているものについては、明らかな増加がみられたもの)、「B」:目標達成には至らないが改善がみられるもの、「C」:変化なし、「D」:悪化、「E」:現状(策定時)との比較が困難